

vol.83

November 2017

---

学校法人常磐大学 広報誌 TOKIWA POST [トポス]

# TOPOS

[特集]

常磐大学 看護学部 2018年4月開設



# 常磐大学 看護学部 2018年4月開設

2018年4月、常磐大学は水戸医療センターをはじめとした県内の国立病院機構と連携し、看護学部を開設。看護職に必要な専門知識と実践的な技術に加え、多様な健康ニーズに対応する柔軟な思考と、チームとしての協働力を身に付けます。これからの健康課題を解決に導いていくことのできる、地域に根ざした人材を養成します。



## 常磐大学 看護学部 看護学科の概要

修業年限: 4年  
入学定員: 80名(男女共学)  
取得学位: 学士(看護学)

取得資格  
看護師国家試験受験資格  
保健師国家試験受験資格(選択制20名)  
養護教諭一種免許状\*(選択制10名)  
※2018年開設の課程認定を受けるために  
文部科学省に申請中です。

## TOKIWA の看護学部 4つの特色

### 1 幅広い領域を横断し 実践力・応用力を養う

基礎学力向上にe-learningを活用するほか、専門科目では、ゼミナール形式の授業やアクティブ・ラーニングを導入し、学び続ける力をサポート。人間科学部、総合政策学部と連携した幅広い学びは、知見を広げ、実践力を身に付けます。

### 2 連続性の高いカリキュラムで 体系的な学修を実現

基礎、応用、発展と連続性の高いカリキュラムで体系的な教育を提供します。1年次は基礎を理解し、2年次では専門領域ごとに疾病や治療の知識を深め、3年次には身に付けた知識と技術を実習の現場で実践。4年次では今までの学修を統合・発展させ、社会に貢献する力を身に付けます。

### 3 水戸医療センターのほか、 県内の病院等とも連携

水戸医療センターで多くの臨地実習を実施し、隣接する桜の郷キャンパスと円滑に学修を接続します。地域の医療拠点である霞ヶ浦医療センター、茨城東病院とも連携し、国立病院機構と一体となって看護系人材を養成します。

### 4 地域包括ケアシステムを 現場で学べる環境を整備

ますます重要度が高まる地域包括ケアシステム。演習を通じて、実際に地域をフィールドとして保健や医療の現状を理解し、課題と役割を実践的に学修します。看護に大切な、多職種間で協働する力を身に付けます。

## 茨城県で地域の医療を支える看護系人材を育てたい

茨城県の医療の未来を支える人材を、地域で育てるため、県内の国立病院機構と連携し、水戸医療センターのほか、茨城県央・県北地域にも実習先を用意しました。基礎から応用までの繋がりのあるカリキュラムで学び、豊富な経験を積むことで、実践的な力が身に付くことが強みです。常に自分

の頭で考え、科学的根拠に基づいた行動に結びつけられる能力を、重点的に伸ばしていきます。今後の超高齢化社会など、めまぐるしく変化する社会に向き合い、茨城県の医療の未来に貢献できる看護の世界に、一人でも多く送り出せるようサポートしていきたいと考えています。



村井 文江 教授  
看護学部長(就任予定)

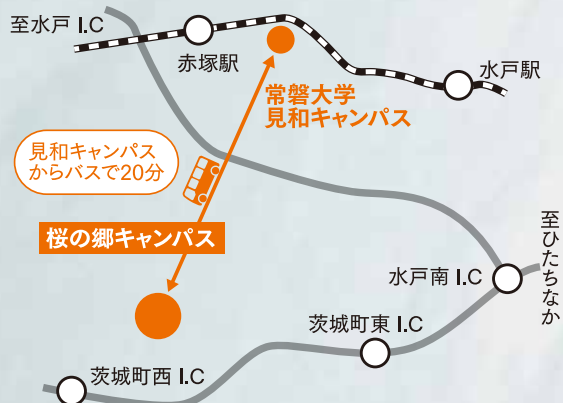


## TOKIWA が目指す看護教育

地域に根ざした学びと幅広く多様な実習環境が整っていることが、常磐大学看護学部の強みです。カリキュラムは、基礎、応用、発展の展開と各看護領域における連続性を高めた科目構成が特長であり、体系的な看護学の教育課程が組まれています。実習の現場では、社会の変化に適応できる看護に関する能力を高めていき、看護学部が定める8つのコンピテンシーを身に付けられる教育を実践します。

## 2つのキャンパスで学ぶ

演習科目は水戸医療センターに隣接する桜の郷キャンパス、講義科目は緑豊かな見和キャンパスがメインとなります。見和キャンパスでは、教養科目は他学部とも共通なことから、学生同士の交流やサークル活動への参加も可能。それぞれのキャンパスには、専門知識を学ぶことに加え、技術を身に付けるための環境等、特色ある設備を整えています。



桜の郷  
キャンパス







## 智学館中等教育学校 創立10周年記念事業

2017年9月9日、West Gymにて創立10周年記念式典が執り行われ、開校以来ここまで見守ってくださった智学館に縁のある皆さまに、ご出席いただきました。式典では生徒が制作した記念モニュメント(校歌額)の除幕式が行われたほか、会場のスクリーンではこれまでの学校行事の写真やメッセージが流れ、この10年を全員であらためて共有した時間でした。生徒はもちろん教職員も、多くの経験を重ねることができた10年間。時には真剣に、時には楽しく過ごしてきた日常を振り返り、在校生、卒業生共に、智学館の歴史と魅力を再認識するとともに、愛校心を深める時間になったのではないのでしょうか。



智学館中等教育学校 校長 山田 隆士

グローバル化が進む中、人間的な魅力にあふれ、次世代を担える人材の育成に取り組んで10年。これからさらに伝統を築くのは、生徒の皆さんです。智を学び、自分で考えて行動し、活用していく力を6年間で身に付けて、世界へ羽ばたいていただきたい。智学館は自分を活かす場。これからも皆さんの成長を期待しています。



### 記念校歌額がお披露目！

校歌を毛筆で下書きし、一文字ずつ輪郭を銅板の上になぞり、打ち付けて作成した校歌額。2015年のフェスティバルで1番の歌詞部分が完成し、今回の式典で全てがお披露目となりました。全校生徒が自身の手により1枚ずつ丁寧に刻んだ、輝かしい作品です。この校歌額は智学館の未来へつなげる証として、大きな役割を果たしていくでしょう。



毛筆で歌詞の下書きを担当  
吉川 峻さん (2013年度卒 第1期生)

今回の一文字一文字を刻んだ作品で、あらためて校歌の素晴らしさを実感できました。校歌に込められたメッセージが、後輩たちにもしっかりと伝わっていくことを願っています。



## あの時も、これからも。青春の思い出あふれる我が母校



**三代 侑平** 2013年度卒 第1期生(同窓会長)  
筑波大学 生命環境学群 生物学類 4年

### 木の香の学び舎、智学館は心のふるさとです

智学館では多くの先生や仲間と出会えました。私は元々人前に出るタイプではなかったのですが、お笑いイベント等の発表を重ねたことで、今では積極的に人前で話せるように。これは大学での論文発表にも活かされています。入学当初は先輩のいない部活動でしたが自主的に練習し、後輩の指導の仕方が分からない時も、助け合って解決方法を探しました。将来の夢は教師。嫌いな教科も好きにしてあげられるような、楽しい先生を目指します。



**嶋津 可鈴** 5年次  
智学館中等教育学校 生徒会長

### 先輩と後輩の距離が近く、楽しく活動できています

小学校から英語が好きで、ネイティブの先生から学べる智学館に進学しました。最初は先生と緊張しながらの会話でしたが徐々に克服。今では英会話に自信ができました。昨年10月に生徒会長となり、生徒会メンバーと楽しく活動しています。合宿のためにと企画した「きもだめし」も、みんなに喜んでもらえてうれしかったです。将来は工学系に進み、車に関する技術開発や、英語を活かして外国の方のサポートができればと思っています。



## 第5回 智学館フェスティバル 2017 『Bright ～夢見た以上の夢にご招待～』



### 6学年が一緒に楽しむ学校祭

式典が行われた2017年9月9日、10日の2日間、小吹キャンパスにおいて、智学館フェスティバルが開催されました。各教室では作品の展示、映像上映、迷路やゲームをはじめ生徒たちが腕を振るう模擬店など、個性あふれる催し物で大賑わい。West Gymでは楽器演奏やダンス、武道、演劇など、普段の成果が舞台上で披露されていました。学年を超えて声を掛け合う姿もあちこちで見られ、卒業生や保護者の方々と共にみんなが楽しめた2日間でした。







## 「常磐大学&水戸ホーリーホックコラボデー 2017」を開催。 企画・準備・運営でホーリーホックをサポート

8月16日開催の地元Jリーグチーム水戸ホーリーホック対京都サンガF.C.戦において、常磐大学と水戸ホーリーホックとのコラボデーを開催しました。このコラボデーでは、常磐大学 国際学部 経営学科の「マーケティング演習」を履修する2年生が、集客のためにさまざまな企画を提案し、その準備や運営までを担当しました。また、高校女子サッカー部の前座試合、大学・高校吹奏楽団による演奏、高校・智学館によるダンス披露、智学館によるフェアプレーフラッグベアラー、幼稚園のエスコートキッズが会場を盛り上げました。さらに、各学校の生徒・学生総勢50人以上が運営ボランティアとして会場をサポート。当日の入場者数は5,540人にのぼり、水戸ホーリーホックも京都サンガF.C.に2対0で勝利し、盛会のうちに終了することができました。



## News and Topics

学び、体験し、日々成長している学生・生徒・園児たち。  
そんな彼らの活躍の場は、校内にとどまらず  
さらなる広がりを見せています。  
ここでは各学校の主な活動や取り組み、実績などをご紹介します。



### 「トビタテ!留学JAPAN」 第7期生に、 ヒューマンサービス学科3年の 仲村 智里さんが採用



「官民協働海外留学支援制度～トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム～」第7期全体への応募は全国から1,752人(230校)、合格者は608人(160校)でした。そのうち、コミュニティ 振興学部 ヒューマンサービス学科3年の仲村智里さんが応募した「多様性人材コース」には795人(171校)が応募し、採用されたのは121人(62校)でした。本学の学生としては、6人目の採用となります。仲村さんの留学計画のテーマは「誰もが自分らしい生き方を選べる社会に!～日本一福祉先進国・新興国をつなぎ、福祉制度の狭間をつなぐソーシャルワーカーを目指して～」留学期間は、2017年8月中旬から2018年2月末まで(約6.5カ月)となり、初めの4.5カ月間は本学の交換留学制度を利用してタイのチェンマイ・ラジャパット大学国際学部にて在籍します。12月末に一旦帰国後すぐにデンマークのボーゲンセ市に渡り、ノーフェンス・ホイスコーレ(全寮制の成人向け私立学校)にて、デンマークの社会保障制度や福祉制度を実践的に学びながら、現地のソーシャルワーカーに聴きとり調査を実施する予定です。



### ローズヴィラ水戸奨学金制度 対象を拡充

社会福祉士を目指す本学学生に対し奨学金が給付される「学校法人常磐大学ローズヴィラ水戸奨学金制度」が7月13日に改定され、支給対象を拡大しました。この奨学金制度は、2012年に一般財団法人安寿苑と連携し創設されたもの。より多くの学生を支援するために対象者の幅を広げ、福祉を支える若い人材の育成を目指します。これまでは社会福祉士を目指す特定の学部学科の学生が対象でしたが、今回の改定により、従来に加え、福祉への志がある学生を広く対象とし、年間の給付総額が2倍となりました。一般財団法人安寿苑の照沼秀也理事長は「今後も、大学での学びに併せて地域の福祉を学び、卒業後も茨城県、特に水戸に貢献していただきたい」と話し、本学の森征一理事長は「多くの学生がこの奨学金制度を活用してもらい、地元への社会貢献につなげたい」と話しました。







## 「茨城県ゆうあいスポーツ大会」で ボランティア活動を実施

短期大学 幼児教育保育学科の1年生が5月28日に開催された「茨城県ゆうあいスポーツ大会」のレクリエーション競技でボランティア活動を行いました。幼児教育保育学科では、現代教養講座「心の充実」を開講しており、この活動を通して、学生としての社会的な役割を理解するとともに、生きるための精神的な充実を体験することで、人間性豊かな保育者を養成しています。学生たちが担当したのは参加者の受け付けや、誘導、競技の補助など。最初は戸惑いがちだった学生たちも、笑顔と明るさで会場にとけ込み積極性を徐々に発揮。「参加者の方から『ありがとう』と声を掛けていただき笑顔になることができました」「遠慮するのではなく、常に笑顔でしっかり挨拶することが、コミュニケーションの基本だと実感しました」など、それぞれ感じることも多かったようです。参加者全員と力を合わせて役割をやり遂げることで、協調性や自発的な行動、集団でのマナーなど、さまざまな学びを得ることができました。



## 夢の実現に向け切磋琢磨。 3泊4日の「学習合宿」を開催

7月4日から8日までの4日間、つくばグランドホテルにて、全校生徒参加の「学習合宿」を実施しました。1年次生は筑波山登山、JAXAや予科練平和記念館見学など、机上の学習では学べない経験をしました。2年次生から6年次生は普段より長い90分の授業や、昨年より多く設けた自学自習の時間など、学習に没頭する日々を過ごしました。早起きをしての神社参拝、理科のネイチャーゲームや社会の貿易ゲーム、課題図書の激論会など自学自習以外の活動も多く取り入れ、学年の枠を超えてさまざまな学習をしました。先輩・後輩・友人たちが各自の夢の実現に向けて勉強に打ち込む姿勢に互いに刺激を受け、実りある4日間となりました。



## 2017年度カナダ10日間 語学研修を実施

8月16日から28日にかけて2017年度カナダ10日間語学研修が実施されました。本研修参加者14人と、3カ月語学留学プログラム参加者8人が、現地の一般家庭にホームステイをしながら、ハリーエインリー高校で英語を集中的に学びました。また、3泊4日のカナディアンロッキー研修ではカナダの山、川、滝、氷河などの大自然を堪能しました。特に山頂からの絶景には圧倒されました。期間中は天候に恵まれ、たくさんの研修とアクティビティをこなし、全員満足した表情を浮かべていました。英語でのコミュニケーションを通して、カナダのホストファミリーや友人と親交を深めたことと思います。これからもその絆を大切に育ててほしいです。



## 幼稚園の砂場を年長さんと 一緒にきれいに「砂場クリーン作戦」

茨城県建設業協会 建設未来協議会が地域貢献活動の一環として、年長組と協力して、6月1日に「砂場クリーン作戦」を行いました。30人ほどの方が来園し、電動ふるい機やショベルカーも登場。のぼりもあがり、お祭りのような雰囲気の中、一人一人交代でショベルカーにも試乗をさせてもらいながら作業が始まりました。まず砂場の砂をブルーシートに全て取り出し、順番にふるいに砂を入れ、異物を取り除きます。またその砂を電動ふるい機に通し、さらに小さな異物を完全に除去してから砂場に戻します。「こんなに石や木が埋もれていたんだね」と、バケツ何杯分もの量にみんなびっくり。新しい砂を補充して消毒液を散布。本当にサラサラ砂の砂場に生まれ変わりました。ネットも作っていただき、今後、砂場での遊びがさらに活発になりそうです。



## 大学 古河市「避難所体験プログラム」で 防災教育レクリエーションを実施

砂金祐年准教授のゼミナールで、コミュニティ振興学部 地域政策学科の学生8人が、9月9日から10日にかけて古河市立大和田小学校で実施された「避難所体験プログラム」に参加しました。この取り組みは古河第17地区ふれあいの会地域住民が主体となって避難所生活を実際に体験する2日間のプログラムで、砂金ゼミは昨年度から参加しています。学生たちは、住民の方々と協力しながら避難所の設営や炊き出しを行ったほか、夕方からは砂金ゼミが企画・作成を手がけた防災教育レクリエーション「防災ジャンボかるた」を行いました。またこの日は避難所となる体育館に住民の方々と一緒に宿泊し、避難所の大変さを身をもって体験しました。住民の方々からは「大学生が参加してくれることで、より実践的な訓練を行うことができた」「防災ジャンボかるたを通じて防災について楽しく学ぶことができ、地域の絆を深めることができた」などの声をいただきました。



## 大学 「学内業界・企業研究会」を開催

7月7日、今年で3年目となる「学内業界・企業研究会～Your First Contact～」を開催しました。大学3年生を中心に170人以上の学生が参加し、会場は活気にあふれていました。大学2年生の参加もあり、学生の就職活動やインターンシップ、将来に対する意識の高さを感じることができました。この研究会は、キャリア教育の一環と位置づけ、企業採用担当者と本学卒業生を招き、業界動向や会社・仕事を自分のこととして理解し、就職活動や自身のキャリア形成に役立てることを目的として開催しています。サブタイトル「～Your First Contact～」のとおり、初めて企業採用担当者と接するため緊張した様子の学生も多く見受けられましたが、それぞれの学生がメモを取りながら企業採用担当者や卒業生の話に興味を持って聞いている姿が印象的でした。



## 大学 常磐大学・常磐短期大学 保護者会を開催

就職状況・学習状況をはじめとした学生生活全般についての情報交換を通して、保護者と学校側との連携強化を図るため、6月11日に常磐大学・常磐短期大学保護者会を開催しました。当日は、約300組の保護者の方々にご出席いただき、講演会(テーマ:「地域で働く人を育てる」、講師:人間科学部 且まゆみ教授)、常磐大学後援会総会・常磐短期大学父母の会総会、学生食堂での昼食、学科別懇談会、施設見学などを行いました。保護者の方からは、「常磐大学の就職支援が充実していることが分かり安心した」「直接担当の先生とお話できてよ



かった」「大学での子どもの様子がよく分かった」などの声が聞かれました。本学の取り組みを保護者の方々を知っていただき、学校と家庭の双方から学生の成長を支えていく上でも貴重な情報交換の場となりました。



## 高校 オープンスクールを開催。 常磐大学高校生活の魅力発信

7月25日から28日までの4日間、オープンスクールが行われました。4日間で約2,000人の中学生ならびに保護者の方々にご来校いただきました。吹奏楽部による「ウェルカムコンサート」、合唱部による「校歌斉唱」、部活動紹介や特進選抜コースの取り組み、偕楽園ボランティアなど生徒たちが高校生活の魅力を伝えました。その後は、クイズラリーで校内を見学し、体験学習で高校生活の一部を体験していただきました。参加した中学生からは、「すごく楽しかった」「常磐のオープンスクールに来てよかった」「先輩や先生が親切に案内してくれた」などの感想を多数いただきました。



## 高校 中学生を対象とした体験入部を実施。 共に刺激をうけあう有意義な時間に

今年も中学生を対象とした体験入部が行われました。各部において、普段高校生が行っているメニューと一緒に体験してもらいました。熱心に指導をする高校生と、先輩や先生のアドバイスをしっかりと聞き、練習に生かそうとする中学生の態度がとても素晴らしく、有意義な時間を過ごすことができました。合計約360人も中学生が本校生と共に活動し、常磐大高の部活動の雰囲気を味わっていただきました。高校生も中学生から良い刺激を受けたようでした。



## 高校 「イノベーションキャンパスinつくば2017」に参加。 科学・イノベーションの素晴らしさ・大切さを体感

8月9日、つくば国際会議場で行われた「イノベーションキャンパスinつくば2017」に特進選抜コースから4人、特進コースから6人が参加しました。そのうち4人は2泊3日で研究施設を訪問し、全国の高校生と科学をテーマとしたグループワークを行いました。初日午後には、特別講座を行っていただいた研究者との交流会も行われ、真剣なまなざしで研究者と意見を交わすことができました。最先端の研究に取り組む科学者や日本経済をリードする企業の方による特別講座を受け、他県の高中生と出会い、語ることで、彼らの視野は広がり、科学の素晴らしさとイノベーションの大切さを体感することができました。







## アナハイム市学生親善大使が来校

6月26日、水戸市と国際親善姉妹都市の盟約を結んでいる米国アナハイム市の学生親善大使として、6人の留学生が来校しました。全校で行った歓迎会では、合唱部によるミュージカル「Sound of Music」の発表や、空手部の演武披露、ゲーム形式の自己紹介などを行いました。上級生が率先して英語でコミュニケーションを取っており、たくさんの笑顔が見られました。また、1年次は「英語での学校案内」、2・3年次は「理科の授業」、4年次は「英語でのグループ会話」、5年次は「共に給食」、6年次は「体育の授業」などを通して、親交を深めました。外国で生活する同世代の人たちとの交流は、生徒にとって貴重な経験となりました。



## 前期スポーツ&ホビー発表会を開催。 自分たちの体験を「発表する」ことを学ぶ 良い経験に

9月20日、前期スポーツ&ホビーの発表会を行いました。スポーツ&ホビーは、本校で行われる地球市民学という探究活動に含まれるもので、1・2年次生が自分たちの価値観や興味関心をより広げるために週2時間行われている授業です。授業は、はがきサイズの消しゴムを好きなデザインに彫る「消しゴムハンコ」や、楽器演奏、本作り、スポーツ、アート、プログラミングなどさまざまな内容が展開されています。前期で取り組んできた自分たちの活動内容をまとめてパワーポイントを使ったり、生演奏を披露したりなど、いろいろな形で発表しました。まだ発表に慣れていない1・2年次生たちでしたが、みんなで頑張って発表でき、良い勉強になりました。



## 今年もみんなで、七夕の笹飾りや短冊作り。 願いが天に届き、叶いますように

7月7日の七夕を迎えるにあたり、今年もみんなで、笹飾りや短冊を作りました。好きな遊びのコーナーで折り紙、さまざまな模様の広告紙を使って、輪っかや紙ちょうちん、天の川、お星さまなど、学年なりの絵画の技法を取り入れ、少しずつ作りためていきます。年少さんは思い思いの模様を描いたかわいい魚のはじき絵、年中さんははつらつとしたひまわりお花のはじき絵。年長さんはそれぞれの個性が光る立体的な彦星と織り姫。一人一人願いを込めた短冊を笹につけ、園庭の総合遊具に大きな笹竹をくくりつけました。それぞれの願いが天に届き、叶うといいですね。



## 1期生が教育実習生として母校の教壇に

5月下旬から智学館の1期生たちが、教育実習にきました。1期生たちは在学時の懐かしさを感じるながらも、授業を実施する立場となった緊張感もあり、複雑な思いを抱えて実習にチャレンジ。それでも在校生のために懸命に授業研究をし、先生方に質問しながら自分が学んできたことを最大限活用して教壇に立っていました。そうした先輩たちの姿を見た在校生は、先輩たちからたくさん話を聞きながら刺激を受け、進路について深く考える良いきっかけにもなりました。



## 大学内の新体育館で「運動遊び」 マット運動に挑戦

6月29日、大学内の新体育館において年長組を対象に「運動遊び」を行いました。今回の課題はマット運動。常磐短期大学 幼児教育保育学科の森慎太郎先生や学生たちと一緒に、まずは年中さんの時のおさらいで、前転からのスタート。たまにマットから飛び出してしまう子どもたちもいましたが、一人一人回ることができました。次に後転に挑戦！後ろが見えないのでなんだかドキドキしている様子。手のひらは上に向け、耳の横につけて背中を丸くして…コロロン！！みんな勇気を出して何回も挑戦。コツをつかんで楽しくできました。最後は、体育館内に広がったサーキットを元気に回っておしまいです。ピカピカの広い体育館で、楽しく運動できた子どもたちも満足そうな様子でした。



## 職員対象に赤十字救急研修会を実施

夏季休園中の8月10日、日本赤十字社から講師の先生をお招きして、幼児安全法についての研修会を行いました。園生活の中で、子どもたちに起こりやすい事故の予防と救命処置・応急手当の方法や、病院への対応の仕方など、丁寧に話をしてくれました。また、身近なもの（バンダナやTシャツ等）を使用した手当の方法の実践練習も行い、学びの多い時間となりました。日々の園生活の中で、私たち職員が子どもたちの安全をしっかり守り、支える必要性をあらためて強く感じた1日でした。





# Eye on Clubs

部活動で輝く学生・生徒に注目!

## Badminton

バドミントン部

### 大学 短大



#### みんな一緒に、強くなりたい

部員の約半数が大学からバドミントンを始める中、「経験者と初心者の壁がないのが理想」と話す古川さん。中学からの経験を生かし、週3回の練習メニューは自分たちで考案し、競技歴に関わらず、同じメニューに取り組んでいます。「バドミントンは、大学からでも始めやすい」と話す小野瀬さんは、野球からの転身組。「でも、やればやるほど奥深いスポーツ」と言います。部活動を通じて、「学年・学科・学校の枠を超え、さまざまな人と出会えた」ことが大きな収穫。仲間と共に、一つでも多い勝利を目指します。

常磐大学・常磐短期大学バドミントン部

部員数:17人(男子10人 女子7人)

活動日:火・木・土曜日 8月に3泊4日の夏季合宿を実施

2017年度:関東大学バドミントン秋季リーグ戦 男子6部、女子4部所属

バドミントン部 女子代表  
古川 瑠美  
国際学部 英米語学科 3年

バドミントン部 主将  
小野瀬 光暉  
人間科学部 現代社会学科 3年

### 高校

常磐大学高等学校バドミントン部

部員数:41人(男子9人 女子32人)

活動日:週5、6日(月~日曜日)

5月に3泊4日の強化合宿、8月に2泊3日の夏季合宿を実施

2017年度:男子学校対抗県ベスト8、女子学校対抗県ベスト16



実績を残された先輩との練習の過程や学んだことを、今につなげている部長の土田さん。「バドミントンを始めた中学時代より練習量も増え、今年の茨城県高等学校秋季大会のダブルスでベスト16に入ることができました」。部活動を通じて、人としてのあり方や礼儀などを学んでいるとのこと。先輩を超える成果を目指し、日々の練習に取り組んでいます。

男子バドミントン部 部長  
高校2年 土田 海斗



「部長経験は初めて。部員のみんなや先生の支えがあるから頑張ることができています」と岡田さん。中学時代はテニス部でしたが、部活動紹介に魅せられてバドミントン部に入部しました。練習は真剣ですが、元気に声を掛け合い、全学年仲がいいのが自慢。「意見を出し合って、もっと上を目指したい」と話す岡田さんは、団体で県ベスト16以上が目標です。

女子バドミントン部 部長  
高校2年 岡田 莉央



Wind Orchestra  
吹奏楽団



(提供: (株) フォトライフ)

2年連続で東関東大会に出場し、今年は「銀賞」を受賞

9月17日、ひたちなか市文化会館で開催された「第23回東関東吹奏楽コンクール・大学の部」に常磐大学 吹奏楽団が出場し、銀賞を受賞しました。8月に行われた茨城県吹奏楽コンクールでは、県代表になったものの結果は銀賞。県大会での悔しさを東関東大会では乗り越えたいという気持ちを胸に、練習に励んだ夏。一人一人が全力を尽くした演奏で、昨年より一つ上の賞につながりました。出場校中最も人数の少ない21人での演奏も、みんなの思いの強さでカバー。ベストを尽くした「トキワサウンド」の演奏ができました。今回の経験を励みに、次はさらに上位を目指します。

部員数: 30人(男子5人 女子25人)

活動日: 平日(週2回)および土曜日に合奏練習

その他の平日は自主練習

2017年度: 東関東吹奏楽コンクール・大学の部 銀賞

第33回定期演奏会(2月24日)

Soccer

サッカー部



井坂健太さんが水戸ホーリーホックの「JFA・Jリーグ特別指定選手」に登録

9月14日、常磐大学 サッカー部の井坂健太さん(人間科学部 現代社会学科3年)が、日本サッカー協会より「JFA・Jリーグ特別指定選手」として承認されました。受け入れ先は、地元水戸市をホームタウンとする「水戸ホーリーホック」。2016年度より本学サッカー部とトップチームとのトレーニングマッチを定期的に行うなど連携しているクラブで、井坂選手は今後、常磐大学 サッカー部に所属したまま、Jリーグの試合にも出場できるようになります。特別指定選手制度とは、サッカー選手として最も成長するユース年代に、組織や連盟等の垣根を越え、「個人の能力に応じた環境」の提供を目的としています。水戸ホーリーホックで活躍する井坂選手の今後も楽しみです。

部員数: 27人(男子27人)

活動日: 火~日曜日

2017年度: 北関東大学サッカーリーグ戦 4位

Swimming  
水泳部



3選手がインターハイ出場

8月17日~20日に行われた日本高等学校選手権 水泳競技大会に、2年の神坂詩音さん、1年の菅谷 夢さんと比留間海月さんの3選手が出場しました。惜しくも入賞には届きませんでした。インターハイに出場した経験は、さらに上を目指す選手にとって、有意義なものとなったようです。3選手は8月22日~26日のジュニアオリンピックカップにも出場。ここでは神坂選手が200m背泳ぎで3位という快挙に。水泳部のこれからの飛躍にご期待ください。

部員数: 31人(男子15人 女子16人)

活動日: 月~土曜日

2017年度: インターハイ出場、ジャパンオープン出場、ジュニアオリンピックカップ3位、

国民体育大会出場

Gymnastics

体操部・新体操部



五十嵐遥菜さん インターハイ個人総合第3位

8月11日の全国高等学校総合体育大会 新体操大会に3年の五十嵐遥菜さんが出場し、個人総合3位、種目別リボンでは2位という輝かしい成績を収めました。過去2回の全国総体では緊張で力を出し切れなかった経験から、今回は本番と同じような環境の中で練習を重ねたという五十嵐さん。努力が実って目標の表彰台に立つことができました。

部員数: 4人(女子4人)

活動日: 月~日曜日

2017年度: 関東大会 個人総合3位、全国高校選抜 個人総合3位、

国民体育大会2位

Eye

on

Books

大学・短期大学の教員が執筆したさまざまな分野の著書をご紹介します。



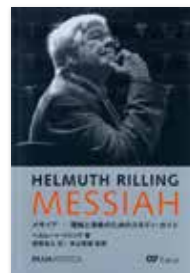
学校図書館への招待

人間科学部 助教 田嶋 知宏

坂田仰・河内祥子 編著

2017年6月 八千代出版

学校管理職や学校職員の見点から学校図書館を捉えなおす本です。学校図書館の人的資源および物的資源についての章を担当し、学校図書館運営の観点からまとめました。



メサイア 一理解と演奏のためのスタディ・ガイド

キャリア教養学科 教授 菅野 弘久

ヘルムート・リリング 著 菅野弘久 訳

2017年8月 パナムジカ

ヘンデルの傑作《メサイア》について、世界的指揮者ヘルムート・リリングが、その豊富な演奏経験から得た作品の理解と演奏に関わる重要なポイントを余すことなく紹介します。

## 皆さまからのご意見大募集!

①印象に残った記事とその理由など

②今後、広報誌で取り上げてほしいテーマなど

皆さまからのご意見・ご感想を  
メールまたははがきでお寄せください。

\*名前、住所、本学との関係(在籍者の場合、所属する  
学校名)も併せてご記載ください。

[メール送信先] [kikaku@tokiwa.ac.jp](mailto:kikaku@tokiwa.ac.jp)

[はがき郵送先] 〒310-8585

茨城県水戸市見和1丁目430-1  
学校法人常磐大学 総務課広報係



お寄せいただいた方の中から、  
抽選で20名様に  
常磐大学オリジナルグッズを  
差し上げます。



常磐大学大学院  
常磐大学  
常磐短期大学



常磐大学高等学校  
智学館中等教育学校  
常磐大学幼稚園



<http://www.tokiwa.ac.jp/>



常磐大学は平成28年度大学評価の  
結果、(公財)大学基準協会による大学基  
準に適合していると認定されました。



常磐短期大学は平成26年度(一財)  
短期大学基準協会による第三者評  
価の結果、適格と認定されました。

## 寄付者ご芳名 (敬称略)

ご厚情に深く感謝し、以下のとおりご報告いたします。  
[2017年5月~8月受け付け分]

### 諸澤幸雄奨学金制度の創設・充実

#### 個人

4,000円	坂井 知志*
	江原 麻子*
	齋藤 祐輔*
芳名のみ公表	田邊 正*
	丸山 悦子

累計金額 98,618,208円

### 見和キャンパス開設50年施設整備事業募金

#### 法人

20,000円	(株)コヤマスポーツ
1,000,000円	(株)三上建築事務所*
500,000円	(株)久信田観光
200,000円	コココーライーストジャパン(株)*
芳名のみ公表	常磐総合印刷(株)*

#### 個人

100,000円	富田 教代*
40,000円	小柳 武*
40,000円	富田 恭平*
20,000円	中村 和彦*

芳名のみ公表	内田 和毅*
	関 いづみ*
	根本 知計*
	久松 雄大*
	丸山 悦子
	横山 正和*

累計金額 9,298,760円

### 常磐大学における地域金融に関する教育研究の奨励

2,100,000円	水戸信用金庫* (2017~2019年度:3年度分)
------------	-------------------------------

### 硬式野球部への支援

芳名のみ公表	丸五商事(株)
300,000円	千手 正治*

### 社会福祉士を目指す学生への支援 および介護職員初任者研修奨学金

3,200,000円	(2017年度事業分) 一般財団法人 安寿苑*
------------	----------------------------

### 高等学校への教育支援

芳名のみ公表	鈴木
--------	----

●複数回お申し込みくださいました方は芳名に\*を付しました。

寄付募集の詳細については、  
ホームページをご覧ください。

寄付金のお申し込みおよびお問い合わせ

学校法人常磐大学 会計経理課 寄付係

[お電話で] **029-232-2554**

[メールで] [kifu@tokiwa.ac.jp](mailto:kifu@tokiwa.ac.jp)

## Campus schedule

### 大学・短大

第7回 オープンキャンパス  
TOKIWA OPEN LECTURE  
11/18(土)・25(土)・12/2(土)

幼教フェスタ 12/17(日)

創立記念日 1/25(木)

### 高校

クリスマスフェスティバル 12/16(土)

推薦入学試験 1/9(火)

一般入学試験 1/15(月)

### 智学館

Sports Day 11/8(水)

第1回入学試験 11/19(日)

Walking Day 2/9(金)

### 幼稚園

入園願書受付・入園考査 11/1(水)

育児に役立つ勉強会 11/15(水)

発表会 12/2(土)

## 諸澤幸雄奨学金 奨学生決定のお知らせ

2017年6月に開催した「諸澤幸雄奨学金奨学生決定通知書授与式」について、以下のとおりご報告いたします。



大学	I種奨学生	8名
	II種奨学生	1名
短期大学	I種奨学生	1名